

研究 主題	児童が書くことの喜びを感じられる授業を目指して －「書くこと」における単元構想の工夫と効果的な対話を通して－
----------	---

第4学年国語科学習指導案

指導月日 令和5年10月25日

所属校名 栗原市立若柳小学校

氏名 千葉 直人

1 単元名『ふるさとの食』の良さを伝えるリーフレットを書こう

2 単元の目標

- (1) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。 [知識及び技能] (2)ア
- (2) 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)イ
- (3) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)ウ
- (4) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

3 取り上げる言語活動と教材

言語活動 地域に伝わる料理や特産品について、その良さを伝えるリーフレットを作る。

(関連：[思考力、判断力、表現力等] B(2)ア)

教材 『ふるさとの食』を伝えよう（東京書籍 新しい国語四下）

4 単元観

本単元は、小学校学習指導要領国語科の第3学年及び第4学年の内容〔思考力、判断力、表現力等〕の「B書くこと」の(1)ウ「自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。」を重点指導事項として設定したものである。

これまでに児童は、第3学年の「自分の考えを伝えよう」で、自分の考えとその理由を書く力を付けるために、「お礼の気持ちを伝えるには、手紙がよいか電話がよいか」「旅行に行くなら、山がよいか海がよいか」という話題について、自分の考えが読み手に伝わるように書く学習をしている。また、第4学年の「お礼の手紙を書こう」では、相手や目的を意識して文章を書く力を付けるために、具体的な事例を用いながら自分を支えてくれている人にお礼の手紙を書く学習をしている。

これらを踏まえ、本単元では、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する力を身に付けさせたい。そのために、「地域に伝わる料理や特産品について、その良さを伝えるリーフレットを作る」という言語活動を設定する。リーフレット作りは、相手や目的に応じて書く材料を取捨選択したり、自分の考えとそれを支える理由や事例を挙げて書いたりすることで説得力の高まりや学びの有用性を実感できるため、児童の書く力を高めることが期待できると考える。

5 児童の実態 [第4学年2組28名]

これまでに児童は、授業実践Ⅰの単元「お礼の手紙を書こう」で、相手や目的に応じて書く事柄や使

う言葉を考え、自分の思いを手紙で伝える学習をしてきた。手紙を書く相手や目的を明確にさせることで、自分のこととして捉えて書く姿が見られた。授業実践Ⅰ後の国語科の「書くこと」の領域における意識調査（7月実施）でも、前よりも書くことが好きになったと回答した児童が86%おり、書くことに対する意欲が高まっていることがうかがえる。

本単元を行うに当たり、第3学年の「自分の考えを伝えよう」の学習がどの程度定着しているかを確かめるため、「あなたは旅行に行くなら、山がよいですか。それとも、海がよいですか。自分の考えとその理由を書きましょう。」という問題でレディネステスト（27名実施）を行った。すると、自分の考えとその理由を書くことができた児童は20名であった。しかし、理由は書けているものの理由を表すときに使う言葉を用いていない児童が3名、自分の考えや理由どちらかのみを記述している児童が3名、無回答が1名いるなど、問われたことについて自分の考えを適切に書くことができない児童もいた。

6 指導観

本単元では、地域に伝わる料理や特産品の良さを4年生の保護者に伝えるという目的でリーフレットを作る活動に取り組みさせる。今回、地域に伝わる料理や特産品として想定するのは、「生産が盛んな作物や食べ物」「地元で取れるものを使った料理」「お土産として人気のある食べ物」である。

学習の見通しを持たせる段階では、宮城県で有名な料理や特産品にはどのようなものがあるかを挙げさせる。そして、教師が作成したリーフレット例を読み合わせ、1枚の紙に必要な情報を簡潔にまとめていたり、見出しや写真など読み手の興味・関心を高めたりすることに気付かせることで、主体的な学びにつなげたい。

リーフレットに書く事柄を決める段階では、まず、おすすめする料理や特産品とその理由をワークシートに記入させ、自分の考えを整理させる。その際、なぜおすすめする理由を書くのかを考えさせることで、考えを支える理由の必要性を実感し、自分の考えと理由のつながりを意識して書けるようにしたい。次に、おすすめする料理や特産品の良さが分かる事柄についてワークシートに書き出させる。そして、選んだ理由を具体的に説明している事例になっているか、読んだ保護者に食べたいと思ってもらえるような事例になっているかという観点で対話をさせる。事例とは、考えと理由をより具体的に説明するために挙げられた事柄や内容であることを理解させた上で、考えとそれを支える理由との関係が明確な事例を選ばせたい。

リーフレットを作成する段階では、リーフレットの良い例と改善が必要な例を比較させ、理由と事例の関係や見出しの工夫の違いなどに気付かせることで、下書きを書く際のポイントを押さえさせる。そして、自分の考えとそれを支える理由、考えとそれを具体的に述べる事例の関係を明確にして書かせるため、ワークシートの構成をそれぞれのつながりが意識できるように工夫する。下書きの内容を修正する際は、主に事例が書かれた文章部分に着目させ、自分の考えとその理由を説明する事例として、どのようなことを書けば読み手に伝わるのかを対話を通して考えさせ、清書につなげたい。

学習を振り返る段階では、完成したリーフレットを読み合わせ、感想や意見を伝え合わせる。その後、相手に自分の考えを書いたり話したりするときに生かせそうなことを考えさせる。伝えたいこととその理由が伝わるように、具体的な事例を挙げて書いたり話したりすることや自分が経験したことを具体的に書いたり話したりすることなど、単元で学んだことを今後の学習や生活に生かせるようにしたい。

このような活動を通して、児童に「家の人に食べたいと思ってもらえるように、考え、理由、事例のつながりを意識して書くことができた」「理由を表す言葉や例を挙げるときの言葉を使って、事例を具体的に書くことができた」などと実感を持たせることで、児童に書くことの喜びを味わわせることができると考える。

7 研究主題との関連

研究主題である「児童が書くことの喜びを感じられる授業を目指してー「書くこと」における単元構想の工夫と効果的な対話を通してー」に迫るために、以下の手立てを講じる。

(1) 主体的な学びにつなげる導入と振り返りの工夫

① 児童が興味・関心を高める言語活動と学習課題の設定

単元のゴールへのイメージを持たせるためにリーフレットの例を見せ、その特徴や魅力について考えさせることで児童の興味・関心を高めていく。また、第2時以降の導入では、第1時で立てた学習計画を基に、本時はどのように学習を進めればよいか、どうすれば1単位時間もしくは1単元の学習がより充実するかなどと尋ね、児童の発言を整理しながら学習課題を設定する。

② 自身の学びや変容を振り返る活動の設定

1単位時間を振り返る活動では、本時の学びを振り返らせたり、前時までの学びと本時の学びとの書く際のポイントのつながりを振り返らせたりする。また、単元を振り返る活動では、単元の学習がこれからの生活の中にどんな意味を持つかを考えさせることで自身の学びや変容を実感させる。

(2) 自分の考えを広げたり深めたりするための対話の設定

① よりよい書き方、内容に気付かせるための対話

教師が作成したリーフレットの例を比較させ、対話を通して考えを支える理由や事例の有無で読み手にどんな印象を与えるのかを考えさせたり、相手や目的に応じた書き表し方について気付かせたりする。

② 伝えたいことを明確にさせるための対話

重点指導事項に関わる場面では、児童の発言をつなげて作ったリーフレットを読み合う際の観点に沿って友達や自分自身、リーフレットなどの資料と対話をする場面を設定し、対話したことを全体で共有して、自分のリーフレットを再度見直させることで、児童が書く材料を得たり、よりよい表現方法を考えたりして、伝えたいことを明確にさせる。

8 単元の指導と評価の計画

(1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	①「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) ②「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	①自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、粘り強く書き表し方を工夫し、学習の見通しをもってリーフレットを書こうとしている。

(2) 単元の全体計画（9時間扱い 本時 7/9）

次	時	主たる学習活動	評価規準・評価方法 実線枠：記録に残す評価 点線枠：指導に生かす評価
1	1	○宮城県に伝わる料理や特産品には、どんなものがあるか考える。 ○「ふるさとの食」の良さを伝えるリーフレットを作るという単元のゴールを確かめ、単元の学習計画を立てる。	[主体的に学習に取り組む態度] 観察・ノート ・単元のゴールを確かめ、学習の見通しをもって取り組もうとしているかの確認
2	2	○おすすめする料理や特産品を決める。 ・自分がおすすめする料理や特産品とその理由をワークシートにまとめる。	[思考・判断・表現] ワークシート ・自分の考えとそれを支える理由の関係が明確になっているかの確認

3 本時	3	<p>○おすすめするものの良さを伝えるための情報を集めて整理する。</p> <p>・書き出した事柄の中から、おすすめする理由を説明する事例としてふさわしいものを友達との対話を通して2つ選ぶ。</p>	<p>[思考・判断・表現] ワークシート</p> <p>・相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことが明確になっているかの確認</p>	
	4	<p>○リーフレットの割り付けを考える。</p> <p>・リーフレットの良い例と改善が必要な例を比較し、理由と事例の関係や見出しの工夫の違いなどに気付かせ、書き表し方の工夫について確認する。</p> <p>・調べたことを基に、文章の組み立てとリーフレットの割り付けを考える。</p>	<p>[知識・技能①] ワークシート</p> <p>・考えがどのような理由や事例によって支えられているかをリーフレットの例を通して理解しているかの確認</p>	
	5	<p>○リーフレットの下書きを書く。</p> <p>・自分の考えとそれを支える理由や、理由を具体的に説明する事例とといったつながりを意識しながらワークシートに下書きを書く。</p>	<p>[思考・判断・表現①] リーフレットの下書き</p> <p>・書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考え、内容のまとまりで段落を作っているかの確認</p>	
	6		<p>[主体的に学習に取り組む態度①] リーフレットの下書き</p> <p>・読み手を意識し、粘り強く書き表し方を工夫しているかの確認</p>	
	7	<p>○リーフレットの下書きを見直す。</p> <p>・ペアの友達に質問をしたり、感想や助言を伝えたりしたことを基に下書きを修正する。</p>	<p>[思考・判断・表現②] リーフレットの下書き</p> <p>・理由や事例を表す表現を用いるなど、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫しているかの確認</p>	
	8	<p>○リーフレットを清書する。</p> <p>・下書きで見直したことを基に、割り付けに合わせて清書をする。</p>		
	3	9	<p>○完成したリーフレットを読み合い、感想や意見を伝え合う。</p> <p>○単元の学習を振り返り、相手に自分の考えを書いたり話したりするときに生かせそうなことを考える。</p>	<p>[主体的に学習に取り組む態度] ノート</p> <p>・単元の学習が今後の生活にどんな意味を持つかについての記述の確認</p>

9 本時の計画

(1) 目標

自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。

(2) 本時の指導に当たって

本時は、4年生の保護者に食べたいと思ってもらえるような書き表し方の工夫を考えるために、主におすすめする料理や特産品の良さを説明する事例が書かれた文章について対話を重ねる。まず、児童の実態を想定して作成したリーフレットを提示する。どこをどのように修正したら食べたいと思ってもらえるようなリーフレットになるかを考えさせることで、既習事項を再度確認させ、事例の文章の質を更に高めさせたい。下書きを読み合う活動では、自分が工夫したところを伝えた上で、児童の実態を想定

	<p>4 事例の内容を修正する。</p> <p>○ 下書きを読み直し、保護者に食べたいと思ってもらえるような事例に修正しましょう。</p> <p>◆ 理由に挙げたことがしっかり事例に書かれているかを確認しよう。</p> <p>◆ 牛たんを食べたことがあるから、そのときの感想を付け足そう。</p>	個人	<p>がら、下書きを再度見直す観点にする。</p> <p>◎対話を通して下書きをどのように修正したかが分かるようにするため、修正したところは、赤ペンで書かせる。</p>	[思・判・表②]（リーフレットの下書き）
終末5分	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>○ 対話によってどんなことに気付きましたか。そして、下書きをどのように修正しましたか。</p> <p>◆ ○○さんとの対話で、おすすめする理由を説明するために事例と食べたときの感想を書いた方がよいと思い、食感がよいという事例と感想を書きました。</p>	一斉	<p>◎対話をすることでどんなことに気付いたか、それを受けて下書きをどのように修正したかを振り返らせることで、自己の変容を自覚的に捉えさせる。</p> <p>◎リーフレット例で確認した観点について具体的に記述している児童に発表させる。</p>	

(4) 本時の評価

評価の観点	評価規準	十分満足できる (A)	努力を要する児童 (C) への手立て
思考・判断・表現②	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、自分の経験や体験を基に味や食感などを具体的に書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係が明確になっているかを児童とやり取りをしながら確認し、書き表し方について助言をする。

(5) 準備物

- ①教師：タブレット端末、黒板掲示用のリーフレット
- ②児童：教科書、ノート、リーフレットの下書き

(6) 板書計画

<p style="text-align: center;">振</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おすすめする理由を説明するために事例を用いると分かりやすい。 ・ 自分が食べたときの感想を書くとき、食べたいと思ってもらいやすくなる。 	<p style="text-align: center;">(書き表し方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どんなどころがおいしい？ ↓ 考え^h理由^h事例 ・ ぷりぷり、やわらかい ↓ 味や食感を具体的に ・ 理由は、^hからです。 ↓ 理由を表す言葉 	<p style="text-align: center;">課</p> <p style="text-align: right;">十月二十五日</p> <p style="text-align: center;">児童の実態を想定して作成したリーフレット</p> <p style="text-align: center;">「食べたい」と思ってもらえるように、事例の書き表し方を工夫しよう。</p>
---	--	--